



環境公共 通信

“地域づくりの新しいかたち” 環境公共



第27号 平成27年11月
発行／環境公共推進会議事務局
〒030-8570 青森市長島1-1-1
青森県農林水産部農村整備課内
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

■最近の話題

第38回全国土地改良大会青森大会が開催されました

大会概要

平成27年10月15日（木）、青森市の新青森県総合運動公園（マエダアリーナ）において、第38回全国土地改良大会青森大会が「～あづましの風流れる青森大会～『土地改良の路（みち）繋ぎ 明日への確かな途（みち）拓く』」をテーマに開催され、全国の土地改良関係者ら約3,500人が参加しました。本大会は、農業農村整備に携わる全国の関係者が一堂に会し、農業・農村の重要性や役割を広くアピールするとともに、関係者の総力を挙げて農業・農村をさらに発展させることを目的に開催されたものです。



野上会長によるあいさつ

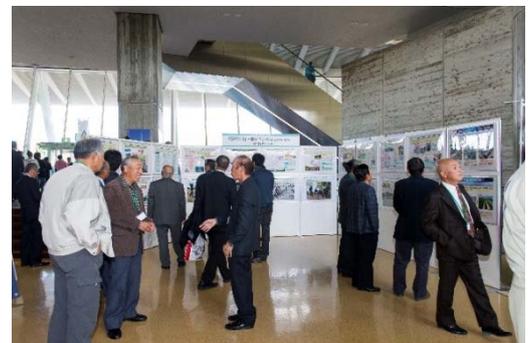
大会式典では、主催者あいさつ、歓迎のことば、来賓による祝辞に続き、土地改良事業功績者表彰、基調講演、被災3県による復興状況報告、県内の優良事例地区の紹介があり、最後に魅力ある農業農村づくりを目指していくとの大会宣言を発し、次回開催県の石川県に大会旗を引き継いで、閉会しました。

「環境公共」をPR



三村知事による基調講演

基調講演では、三村知事が「あおもり発！！『環境公共』の推進について」と題して、本県が提唱している地域づくりの新しいかたちである「環境公共」について講演しました。三村知事は、環境公共のモデル地区である北三沢地区の取組を事例に



パネルを使って環境公共の取組をPR

しながら、「地域力の再生」「強固な農・林・水の連携」「環境への配慮から保全・再生へ」の3つの方向性に基づく環境公共の取組を紹介し、「農山漁村は人、文化、食を育む『ゆりかご』である。『環境公共』の取組を通じて、農山漁村を元気にしていきたい。」と講演の最後を力強く締めくくりました。また、式典会場のロビーでは、「環境公共」のパネル展示を行い、その取組をPRしました。

大畑地区(むつ市大畑町) 大畑川における環境公共の取組

1 地区の概要

津軽海峡に注ぐ大畑川は、むつ市北部を流れ、その中流部にある薬研溪流と多様な樹種からなる豊かな溪畔林は、下北半島国定公園に指定されています。

大畑川中流にある大畑頭首工は、施設の老朽化等により、魚道の機能も低下していたことから、平成 21 年度に農業者、漁業関係者、林業関係者ほか行政機関等からなる「大畑地区環境公共推進協議会」を設立し、平成 22 年度から平成 25 年度にかけて農業水利施設魚道整備促進事業により魚道の整備を行いました。また、専門家を交えた魚道検討委員会を設立し、魚道の構造を決定しました。



2 取組状況

本協議会では、今年度、完成した魚道の機能が発揮されているかを確認するため、魚類の遡上調査を実施しました。整備前にも同様の調査を行っていますが、アユをはじめウグイ、アメマスなど以前と同様の魚種の遡上が確認された一方で、整備前には魚道上流部での採捕数の少なかったカジカ類やウキゴリ類等の遡上も多数確認され、魚道が機能していることを確認できました。



機能していることを確認できました。

また当日は、例年、協議会の構成員でもある大畑町漁業協同組合が実施しているアユの放流も行いました。放流されたアユは魚道をのぼってどんどん大きくなっていくことでしょう。

最後に、地域の人たちと一緒に大畑川周辺の清掃活動を行いました。

清掃活動後には、魚類調査の結果報告と水源となっている森林の役割などについて紹介し、子どもたちも興味津々な様子で説明に耳を傾けていました。

事業が完了した現在は、中山間ふるさと土と水保全対策事業を活用して、清掃活動や啓発活動等を実施しています。今後もこのような活動を継続して、地域に残る豊かな自然環境の維持を図ることとしています。

